

令和6年

4月

号



ファルマコム便り



今年の桜の開花は平年よりやや遅いようですが、待ちに待った桜の季節となり柔らかな日差しが心地よく感じられるようになりました。新生活を迎え、新たな出会いや人とのつながりを大切にする時期でもあります。引き続き花粉症、感染症の心配や不安もありますが、お天気の良い日は予防対策をとりながら、お花を眺めたり、散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。

「介護保険制度一部改正」

介護報酬改定があり、令和6年4月から利用料金などが一部改正となります。詳しくは、各事業所の担当の方やケアマネジャーにおたずねください。

認知症の方への接し方ポイント



認知症の人に“やってはいけないこと”は複数あり、接し方を間違えると症状が悪化するリスクもあります。ご家族の戸惑いは大きいものですが、誰よりも不安なのは認知症になった本人です。

1. 接し方の心得

★驚かせない

- ・驚くとパニックに陥りやすい
- ・視野に入ってから声をかける
- ・相手のペースを乱さない

★急かさない

- ・一つの動作を行うにも考える時間が必要
- ・ゆっくり時間をかければできることもある

★自尊心を傷つけない

- ・認知症になっても感情は残っている
- ・「できないの」「もういいよ」など自尊心を傷つける言動はやめましょう

2. やってはいけないこと

★頭ごなしに叱る

- ・「なぜ叱られたのか」を理解することができない
- ・むしろ戸惑ってしまい、叱られた記憶だけが頭に残る

★大きな声を出す

- ・大声に対して強い恐怖感を覚える
- ・恐怖心を与えないように優しく接する

★命令する

- ・命令口調はマイナスな感情だけが心に蓄積する
- ・信頼関係が揺らぐと症状がますます悪化する可能性もある

★細かく指摘をする

- ・誤った内容の話でも、ご本人は事実だと思い込んでいる
- ・逐一指摘すると何が事実かパニックに陥るため、まずはしっかり受け止めてあげましょう

★子ども扱いをする

- ・子どものように接するとご本人の自尊心が傷つきます
- ・寄り添った対応を心がけながら敬意を持って接する

★役割を取り上げる

- ・落ち込んで抑うつ状態につながることもある
- ・できる範囲で役割や活動の場を与えるようにしましょう

★行動を制限する

- ・心配するあまり行動を過度に制限するのもNG
- ・できる範囲でサポートしてあげましょう

★家に閉じ込める

- ・対人交流は脳の認知機能を刺激するといわれているため、できる範囲で交流の機会を作ってあげましょう

3. 接し方を間違えると・・・

中核症状で物事がうまくできないときに叱責したり、役割を取り上げたりすると本人は不安や恐怖を感じます。

★認知症の主な症状

<中核症状>

記憶障害、見当識障害、理解力・判断力障害、実行機能障害

<周辺症状>

暴言、さまよい歩き、無反応、妄想、幻想、抑うつ



安心できる環境づくりが大切
安心感で症状が穏やかになる場合もある

やってはいけないことやNG行動を把握して、寄り添ったサポートをしましょう

★ファルマコムでも“川柳を随時募集”しています！★

お便りに掲載させていただきますので担当ケアマネジャーにお問い合わせくださいませ！



ファルマコム居宅介護支援事業所

〒890-0066

鹿児島市真砂町84番19号

電話

099-258-1314

ホームページ

<http://www.pharmacom.jp/care/>

5月のこよみ

- 3日 憲法記念日
- 4日 みどりの日
- 5日 こどもの日
- 6日 振替休日
- 12日 母の日

2月末現在 利用者 318名 サービス提供事業所 216ヶ所